

令和6年度 みはま支援学校の教育

めざす子ども像 「自分らしく生きる 豊かに生きる」

教育目標

児童生徒の心身の状態を医療機関と緊密な連携のもと、よりの確に把握し、一人一人の個性、能力特性に沿って、発達の可能性を最大限に求める教育を行い、病気や障害を改善または克服し、自信と希望を持って生き抜く人間性の育成に努める。



めざす学校像

- ・個々の実態や特性に応じた、持てる力と社会自立に向けての力を育成する。
- ・病弱教育の専門性を高め、県・地域の特別支援教育のセンター的役割を担う。

令和6年度の重点目標

(1) 病弱虚弱児・重度重複障害児のキャリア教育を推進する。

- ・自己肯定感やQOLを高める教育支援の充実
- ・県内でのセンター的役割を果たすと共に、関係病院との連携の充実

(2) 地域における特別支援教育のセンター的役割を果たすと共に、関係病院との連携の充実を図る。

- ・発達障害や2次障害を呈する子供への理解と支援
- ・長期入院治療・療養を要する児童生徒への支援

一学部

ア. 生活のリズムを整え、様々な活動の基礎となる心身の健康や体力の保持を図る。
 イ. 人や物との関わりの中で、外界への興味や関心を広げ、自分の想いを表現したり伝えたりする力を育てる。
 ウ. 体験を通し、様々な感覚を育て、学習の基礎となる力や学びに向かう意欲を培う。

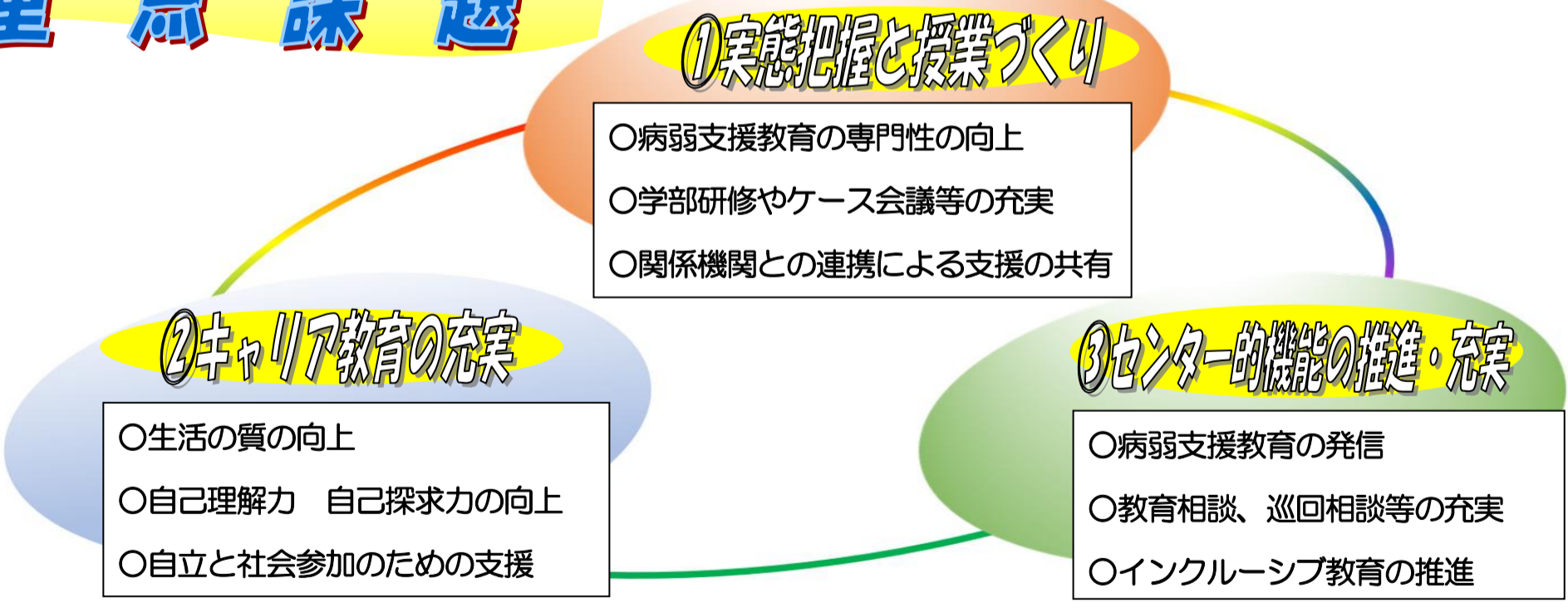
二学部 (小学部・中学部)

ア. 心身ともに健康的な生活をめざし、自己についての理解や体力の向上を図る。
 イ. 学校生活をとおして、経験を広げ、自分が熱中できること好きなことを増やす。
 ウ. いろいろな人との関わりを広げ、自分の気持ちを表現する力を育てる。
 エ. 基礎的な学力を身につけ、自ら学び、考える力を育てる。
 オ. 自分の願いをもち、チャレンジしてみようとする気持ちを育てる。

二学部 (高等部)

ア. 心身ともに健康的な生活をめざし、体調や感情等の調整を含め、自律した生活を送る力を育てる。
 イ. 自分の興味・関心のあることを大切にし、社会生活を楽しむ力を育てる。また、自分の役割を持ち、生活の中で力を発揮する経験を増やす。
 ウ. 多様な人と互いを尊重しながら関わり、自分の考えを伝え、折り合いをつけながら他の者につながる力を育てる。
 エ. 基礎的な学力を活用し、学ぶことの楽しさを味わい、自ら探求する力を育てる。
 オ. 今・未来の自分の生活に必要な情報を得て、自ら考え判断しながら生きる力を育てる。

重点課題



～安心できるこの場所で 希望をつかもう 明るい未来へ向かって～